

登録コード	E2440900	開講年度	2026					
授業科目	音楽理論基礎					担当教員	井田 勝大	
英文授業名	Basics of music theory					副担当		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・5時限		対象学生	2年生
講義室	教育N 4 0 4			授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ							
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	和声法や音楽理論習得を通じて専門的見地から学校教育に生きる指導法の理論、知識、実践的方法について習得する。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	和声法, 楽曲分析, 対位法, 楽曲形式, 音楽史等を概説し, 実際の作・編曲を実施することによってそれらを体系的に学習し, 教育活動において必要な作曲及び楽曲構造の基礎を習得することができるようになる。							
(5)授業計画	第1回: ガイダンス (西洋音楽理論を学ぶにあたって) 【遠隔等】 第2回: 楽典から和声法へ 第3回: 和声連結の法則 第4回: 和声課題実施に向けて (課題提出) 第5回: 和声課題実施 第6回: 楽曲分析 (和声分析方法) 第7回: 楽曲分析 (楽曲の構造) 第8回: 楽曲分析 (総合分析課題の実施) 第9回: 楽曲の形式 (ロンド, 変奏他) 第10回: 楽曲の形式 (ソナタ形式) 第11回: 楽曲の形式 (ポピュラー音楽の構造) 第12回: 楽式と和声分析①【遠隔等】 第13回: 楽式と和声分析②【遠隔等】 第14回: 和声学総合試験、授業の最後1 5分を授業アンケート実施の時間とする。							
(6)成績評価の方法	アカデミックな作曲能力の基礎となる和声課題 (30%), 楽曲構造を知る上で重要となる楽曲分析課題 (30%), 最終試験 (40%) ※評価割合は若干の調整を行うことがある。							
(7)成績評価の基準	学習した内容に応じて課す課題が一般的な理論の水準に達していれば「水準にある」, 各課題において音楽ニュアンスが表出していれば「やや上にある」, 各課題において自身の持つ芸術性が表出していれば「かなり上にある」, 和声・楽曲分析・音楽史的理解の要素が音楽に相応しい状態で、最終課題が音楽的作品として成立していれば「卓越している」 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。							
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業の際に, 配布プリント等で予習しておくべき個所を指定する。質問事項は随時受け付ける。							
(9)履修上の注意	基礎的楽典事項は1年次に授業で扱うカリキュラムとなっているので、各自で必ず確認しておくこと。 この授業はより発展的理論を学ぶものである。 教育実習における欠席分はeALPS上で補講・補習ができるよう配慮する。							
(10)質問, 相談への対応及び連絡先	ida_katsuhiko@shinshu-u.ac.jp							
【教科書】	指定しない。							
【参考文献】	参考書: 「和声のしくみ・楽曲のしくみ」 (島岡譲) 音楽之友社 (2,940円)							